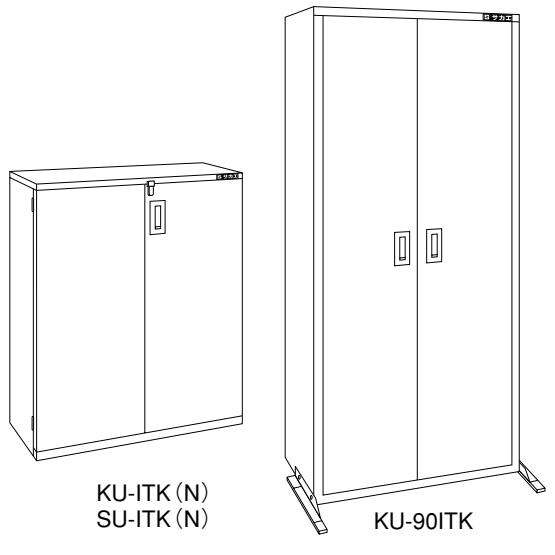


# 一斗缶保管庫 [KU,SU]

## 取扱説明書

この度はサカイ製品をお買い上げくださいましてありがとうございます。  
この説明書は、この製品の使い方(使用上の注意事項)について記載しています。ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
また、この製品を末長くご使用いただくために、この説明書は大切に保存してください。  
尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、下記のお客様相談室までご連絡ください。



**S サカイ**

大阪市城東区成育5丁目22-9

フリーダイヤル

お客様相談室 0120-575101

No. 327 08J-B

この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、次の事項を必ず守って下さい。

### △安全上のご注意

1. 棚板の等分布耐荷重(棚板全面に均等に物を置いた場合)は、  
60kg／段  
スライド棚の等分布耐荷重(スライド棚全面に均等に物を置いた場合)は、**60kg／段**  
棚板の等分布耐荷重(棚板全面に均等に物を置いた場合)は、  
**75kg／段**  
スライド棚の等分布耐荷重(スライド棚全面に均等に物を置いた場合)は、**75kg／段**  
棚板の等分布耐荷重(棚板全面に均等に物を置いた場合)は、  
**80kg／段**  
スライド棚の等分布耐荷重(スライド棚全面に均等に物を置いた場合)は、**70kg／段**  
積載荷重は、耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。
2. 製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。転倒や転落事故の原因になります。
3. スライド棚はゆっくりと引いて下さい。スライド棚を強く引きますとストッパー破損の原因になり、抜け落ちる恐れがあります。
4. スライド棚を引いたまま上から強く押さえたり、重い物を置いたり、踏台として使用しないで下さい。故障や事故の原因となります。
5. 可動部の隙間に指を入れますと、指をはさむ恐れがありますので絶対に入れないので下さい。
6. この製品を引きずって移動しないで下さい。床を傷つけたり、本体破損の原因となります。
7. キャスター付の製品を設置するときは必ずキャスターブレーキをロックして下さい。
8. この製品を移動するときは、キャスターブレーキを解除して長辺方向に行って下さい。短辺方向に行いますと転倒の恐れがあります。ただし、床に段差のあるところを移動するときは、落下や転倒の恐れがありますので注意して下さい。
9. 本体と床面等にガタツキがあるときは、ライナー等で調整し水平の状態で使用して下さい。アジャスター付の場合はアジャスターを調整して下さい。
10. 固定式の製品を移動するときは、収納してある物を全て出し、本体を持ち複数でゆっくり持ち上げて行って下さい。

乱雑に扱うと破損や事故の原因となります。

11. 本体の天井部に直接物を置かないで下さい。
12. この製品の天蓋を開ける場合は、先に扉を開けたのち行き、閉じる場合は天蓋を閉めた後、扉を閉める様にして下さい。
13. この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を充分に説明し、この説明書もお渡し下さい。

### ◆使用上のご注意

1. この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかるところでは、故障や表面材の損傷の原因となりますので使用しないで下さい。
2. 直射日光の当るところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
3. 製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。変色や変形の原因となります。
4. 製品を水に濡れたままにしておきますと表面材の損傷の原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
5. 製品に鍵は付いておりませんが、本体上部中央のクリップ部に南京錠が掛けられますので、鍵が必要な場合は使用して下さい。
6. 消耗部品には寿命があります。キャスター部や可動部などに異常音等(損耗現象)が発生した場合は、購入店へご相談下さい。
7. 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
8. 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

### ◆サカイ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。

汚れが著しい場合は、次の1~3の手順を守って汚れを落として下さい。

1. 薄めた中性洗剤についた布を、かたく絞って拭いて下さい。
2. 水についた布をよく絞って、中性洗剤が残らないよう拭いて下さい。
3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。

※汚れが落ちない場合は、1~3の作業を繰り返し行って下さい。

※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。使用しますと表面材損傷の原因となります。